

第6回横幹連合コンファレンス タイムテーブル

(各セッション括弧内は、オーガナイザ)

■12月5日(土)

カテゴリー	特別	モノ	モノ	モノ/社会	社会	社会
会場	A室	B室	C室	D室	E室	F室
9:20~ 10:50	A-1 先達セッション 横幹連合 温故知新① (鈴木 久敏)	B-1 空中ディスプレイの 進展と多感覚化 (柳田 康幸)	C-1 サステナブル・ イノベーションと顧客要求 (山本 修一郎)	D-1 一般講演① (荒川 雅裕)	E-1 社会価値の協創のための フレームワーク (小竹 暢隆)	F-1 重要インフラ防御のため のサイバーセキュリティ (橋本 芳宏)
11:10~ 12:10	社会特別講演(60分) S室 「人と建築と」 加茂 紀和子 氏					
12:10~ 13:10	昼休み					
13:10~ 14:40	基調講演(90分) S室 「社会・科学・技術について」 大島 伸一 氏					
15:00~ 16:30	A-2 若手研究者の障壁は なにか? (安藤 英由樹)	B-2 触力覚テクノロジー (望山 洋)	C-2 サステナブル・イノベ ーションのための3次元 デジタル技術 (畔上 秀幸)	D-2 モノ・コトづくりにおける 価値創生プロセス イノベーションに向けて (林 利弘)	E-2 環境・農業・食品・生物細 胞からみたCs汚染・動態 評価に関する研究と提案 (青柳 秀紀)	F-2 安全性と信頼性の両立 (土屋 英晴)
16:40~ 18:10	A-3 先達セッション 横幹連合 温故知新② (鈴木 久敏)	B-3 ロボット技術・情報通信 技術の運用空間 (神徳 徹雄)	C-3 一般講演② (松丸 正延)	D-3 開発・設計に必要な 統計的品質管理 —トヨタグループの実践 事例を中心に (仁科 健)	E-3 安全・安心な都市空間 創造のための空間情報 利活用—データ処理から 防災・環境への応用を 対象として— (伊東 明彦)	F-3 経営系分野からの 防災・減災へのアプロー チ (有馬 昌宏)
18:30~ 20:00	懇親会 名古屋工業大学 校友会館(café sala カフェサラ)					

■12月6日(日)

カテゴリー	ヒト	ヒト	モノ	サービス	組織	社会
会場	A室	B室	C室	D室	E室	F室
9:20~ 10:50	A-4 若手研究者セッション ワークショップと研究活動 (田中 由浩)	B-4 医工連携が開く医療 イノベーション:新しい エイズ治療法を例として (浅井 達雄)	C-4 明日の社会とロボット (遠藤 薫)	D-4 一般講演③ (越島 一郎)	E-4 超高速経営に対応した マトリクス・モデリングと 意思決定プロセス化① (山田 哲男)	F-4 都市の動的モデリング (倉橋 節也)
11:10~ 12:10	挑戦若手講演(60分) S室 「切れ味の良い分子を自然界にもとめて」 北 将樹 氏					
12:10~ 13:40	昼休み 会長懇談会 4号館 2階 会議室3					
13:40~ 14:40	技術動向講演(60分) S室 「3Dプリンタの創作過程, 当時の評価, 特許の失敗」 小玉 秀男 氏					
15:00~ 16:30	A-5 横断型人材育成 プログラムの実践 (本多 敏)	B-5 社会におけるヘルスリテラ シー向上に向けた活動量・ 体組成等生体ログ ビッグデータの利活用① (渡辺美智子・小木哲朗)	C-5 3Dプリンタによる設計・ 製造プロセスの革新 (鎧野 寿文)	D-5 サービス価値創造① (小坂 満隆)	E-5 超高速経営に対応した マトリクス・モデリングと 意思決定プロセス化② (大場 允晶)	F-5 長期的な持続可能社会 の実現を目指して (増井 利彦)
16:40~ 18:10	A-6 製品開発・生産・調達の 学生・社会人向け実践教 育プログラム (玉木 欽也)	B-6 社会におけるヘルスリテラ シー向上に向けた活動量・ 体組成等生体ログ ビッグデータの利活用② (渡辺美智子・小木哲朗)	C-6 一般講演④ (仁科 健)	D-6 サービス価値創造② (小坂 満隆)	E-6 企業・労働のサステナビリ ティ要因と地球環境・地 域のサステナビリティ要因 —経営品質科学の立場 から— (浅井 達雄)	F-6 レジリエントな社会の 実現に向けて (丸山 宏:パネルディス カッション 実施)